

夢中を創る



宮原小学校 学校教育目標 「自ら学び 共にのびる」

令和7年9月

明るいあいさつで 2 学期をスタート!

2学期が始まりました。厳しい残暑に負けず、子供達の元気な声が学校に響いています。みなさんはどんな夏休みを過ごされたでしょうか。

2学期の始業式に、子供達に「あいさつ」について話しました。「あいさつ」は、「くつそろえ」「そうじ」とともに、宮原小学校の重点目標の一つです。「あいさつ」は「人を大切にする」ということと繋がっています。それを考えるために、「あいさつ」とはそもそもどういう意味なのかを説明しました。

「あいさつ」は漢字で書くと「挨拶」と書きます。では、この漢字にはどんな意味があるのでしょうか。調べてみると、一つ一つの漢字には次のような意味があります。

挨（あい）・・・ひらく
拶（さつ）・・・近づく



「ひらく」とは、相手に心を開くこと、「近づく」とは相手の心に近づくことです。だから、「あいさつ」はただ「おはよう」とか「こんにちは」と言葉を交わすだけでなく、お互いに心を開き、相手に近づくことを意味します。それは、相手を大切に思っていないとできませんね。自分からあいさつができるのは、相手のことを大切に思って、自分から心を開いて相手を受け入れようとしている証拠です。だから、あいさつができる人は人を大切にしている人なのです。できれば自分から先に心を開いてあいさつができるといいですね。みんなが人を大切にする、明るいあいさつが行き交う宮原小学校にしていきたいと思えます。

さあ、2学期のスタートです。元気なあいさつを交わし、充実した学期になるよう、今日からまたいっしょにがんばっていきましょう。

宮原小学校校長 木谷 順子

ういてまで～講義(6年生)



絵本会(全学年)～平和に関する本の読み聞かせ



地域の方による
ミシンボランティア(6年生)



スポゴミ～宮原の町を
きれいにしよう(5年生)



栄養教諭による食育指導
(2年生)



マツダ出前授業(5年生)



大栄食品出前授業
(3年生)



防災教育～豪雨災害から学ぶ

7月4日（金）全学年がひろしまマイタイムラインを活用して防災に係る学習を行い、正午に黙とうを捧げました。各学級で自然災害のおそろしさや自分の命を守るためにはどのように行動したらよいのかなどについて話し合いました。9月18日（木）には4年生が『広島防災出前講座』で防災講師によるハザードマップ演習（土砂災害）を受講する予定です。

呉市は平地が狭く、住宅が山裾の急傾斜地に張り付くように建てられています。そのため、豪雨や台風による被害が多く発生しています。また、これから、台風が多く発生する季節になります。ご家庭で防災に係る話をしていただき、子どもたち一人一人が「自分の命は自分で守る」ことを意識した行動がとれるようご支援よろしくお願ひします。



2学期も

「自ら学び 共にのびる」

宮原っ子に！

「1学期終業式」では、各学年の代表者が1学期にがんばったことを全校児童の前で発表しました。どの児童も1学期のがんばりを2学期にもつなげてがんばろうとする意欲あふれる姿が印象的でした。その後、宮原中校区で選ばれたいじめ撲滅標語の表彰式も行いました。2学期も安心・安全な学校をみんなで作くり、「自ら学び 共にのびる」目標のもと、成長していきたいと思ひます。



安全ポスター完成！

6年生が夏休みに登校し、安全ポスター制作に取り組みました。「3ステップで学校を安全に」をキャッチフレーズに、学校で安全に過ごすにはどうしたらよいかを問ひかけるポスターです。今年も下絵から自分たちで考え、配色を考えながら協力して仕上げました。このポスターをきっかけに学校で安全な生活について考えることができると思ひます。



6年生さん

よくがんばりました！

